



南条つ子

南条つ子は 進んで学ぶ子
思いやりのある子
かっぱいやりぬく子

目標 ともに学び 豊かな心で未来を切り拓く子の育成

南条小学校だより

R3.5.21 No.12



○ 小学生のスマホは慎重に

スマートフォンが小学生にも普及する中、会員制交流サイト(SNS)をめぐるトラブルも増えている。ささいな行き違いから友人間でのネットいじめに発展したり、犯罪に巻き込まれたりするケースも。だが、SNS上でのトラブルを学校や保護者が把握するのは難しい。子供にどのようにスマホを使わせるべきか、慎重に考える必要がある。

■被害、5年で倍増

短い言葉だけでやりとりするグループチャットは、大人同士でさえ誤解を招きやすい。実は、SNSには高度なコミュニケーションスキルが必要だが、生まれたときからインターネットが身近な「デジタルネイティブ」世代の子供たちは、ネットは使いこなせても、そこに潜む危険性を理解できているわけではない。

警察庁のまとめでは、昨年(2020年)1年間にSNSをきっかけに犯罪に巻き込まれた18歳未満の子供は1819人。全体の被害者数は前年(2019年)から263人減少したが、小学生の被害は12人増の84人で、5年間で倍増している。背景にあるのが、スマホの普及だ。内閣府の昨年(2020年)度の調査によると、スマホでネットを利用する小学生442人のうち、41%が自分専用のスマホを持っていると回答した。

■規約浸透せず

実は、ほとんどのSNSは13歳未満の子供の使用を認めていない。ツイッターは保護者の同意が必要で、近年小学生にも人気の「ティックトック」は保護者が認めたとしても「アプリを使用できない」と規約に明記している。だが、規約の内容が十分に保護者に浸透しているとは言えない。東京都が今年、子供にスマホなどを使わせている保護者を対象に行った調査では、小学校高学年の保護者260人中、SNSの利用に年齢制限があることを知らなかった保護者は41.8%と、半数近くに上った。

子供たちに比べて、学校側や保護者はSNSで何ができるのか、知らないことも多い。例えばSNSを使っていなくても、オンラインゲームのチャット機能を使えば、不特定多数とのやり取りは可能だ。昨年9月には、横浜市で小4女児がスマホ向けオンラインゲームのチャット機能で知り合った男に連れ去られる事件が発生している。産経新聞 5月13日(木)配信

新聞記事より (一部抜粋)

主なSNSの利用可能年齢

SNS	利用可能年齢	13歳未満の利用
LINE(ライン)		利用推奨年齢は12歳以上
Twitter(ツイッター)	13歳以上	保護者の同意が必要
Facebook(フェイスブック)	13歳以上	認めない(保護者の監督下でも不可)
Instagram(インスタグラム)	13歳以上	認めない
TikTok(ティックトック)	13歳以上	アプリを使用できない
YouTube(ユーチューブ)	13歳以上	保護者が許可すれば利用できる。子供向けのYouTube Kidsもある ※各SNSの規約から抜粋

○ ノーテレビ・ノーゲーム・ノーネット週間の結果

5月7日(金)～13日(木)までの1週間、今年度第1回目のノーテレビ・ノーゲーム・ノーネット週間に取り組んでももらいました。

- 5ポイント:利用時間を1時間以内にし、読書もした。
- 4ポイント:利用時間を1時間以内にした。
- 3ポイント:利用時間を2時間以内にし、読書もした。
- 2ポイント:利用時間を2時間以内にした。
- 1ポイント:利用時間が2時間をこえたが、読書はした。
- 0ポイント:利用時間が2時間をこえ、読書もしなかった。

目標の30ポイントを達成した児童は、265人中147人(55.5%)でした。その中で、最高の35ポイント(毎日5ポイント達成)の児童は、48人でした。

1週間には、土日の休日が2日間ありますので、利用時間を1時間以内にすることが難しいことと、読書をするという条件が追加されていますので、かなりハードルは高いと思います。そんな中で、予想以上に頑張ってくれたと思います。素晴らしいです。

第2回は、6月29日(火)～7月5日(月)に取り組んでもらう予定です。

○ 体育大会延期 5月22日(土) → 23日(日)

体育大会を23日(日)に延期します。(下校予定時刻12:30、昼食なし)そのため、22日(土)は休日、24日(月)は振替となります。また、参観について、再度お願いします。

1 参観者の人数については、1家族につき(中学生以上の方は)2名以内とします。

*参観者のうち必ず1名は、学校配布の名札をご着用ください。

*小学生未満の幼児は参観人数に含みませんが、できるだけ参観を控えていただきますようお願いいたします。(当日の遊具の使用は禁止です。)

2 参観に関する留意事項

①当日、風邪・せき・熱等の症状があったり、体調がすぐれないなどの場合は、参観しないでください。特に、熱が37度以上ある場合は、参観を固くお断りします。

②家庭用テント・大型パラソルの設営やパイプ椅子、敷物の設置は、禁止とします。

③グラウンドに区域制限のためロープを張りますので、応援はその外側でしてください。参観される時は、常時マスク着用の上1m以上の間隔を空けてご参観ください。また、大声を出すなどの行為は避け、拍手のみの応援や賞賛をお願いします。

④写真やビデオ撮影等は、区域制限のロープの外側から密にならないように注意しながら行っていただいて構いません。ただし、肖像権などの観点から、撮影された写真や動画をSNSやYoutube等へ投稿・公開することはご遠慮ください。

コロナ禍の中での開催になります。昨年同様、参観について例年より厳しい制限がありますが、ぜひ、ご理解・ご協力をお願いします。

○ 水泳学習(実技)中止

水泳の授業において、新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じることができないと判断し、今年度も昨年度に引き続き、水泳学習を中止とさせていただきます。なお、水難事故防止のための学習は行います。